

令和 8 年度学群編入学試験

生命環境学群地球学類

学 力 検 査

(専門科目)

問 題 冊 子

注意事項

- ① 問題Ⅰ～Ⅳの全問題について解答すること。
- ② 解答用紙は各問題に対して1枚使用し、それぞれの解答用紙には「問題Ⅰ」のように問題番号を明記すること。
- ③ 解答が書ききれない場合には、「裏へ」と明記して、その解答用紙の裏面に続けて書くこと。
- ④ 試験時間は120分です。

問題Ⅰ 下の図1は、オーストラリアにおけるブッシュファイアー（森林火災）の頻発時期を示したものである。オーストラリアにおいてブッシュファイアーを引き起こす気候・気象学的要因を指摘した上で、社会・経済的な影響について関連させて説明しなさい。

（この部分は、著作権の都合により公開できません）

図1 オーストラリアにおけるブッシュファイアーの頻発時期
（松岡ほか編（2019）を一部改変して作成）

問題Ⅱ 温暖湿潤な日本において植生が喪失した場合、流域スケールでの水循環にはどのような影響が想定されるかについて、流域水収支の観点から説明しなさい。

問題Ⅲ 温室効果ガスである二酸化炭素の大気中濃度は地球史を通じて変化していたが、高すぎない、低すぎない状態が維持されてきた。このことにより、地球では液体の水が常に表層に存在できる条件が続いている。このような二酸化炭素を維持するプロセスについて、顕生代における生物の働きに着目して、説明しなさい。

問題Ⅳ 火成岩の多様性を生む原因を5つ以上挙げなさい。